

- 30年後のビジョンキャッチコピー

奈良から創るアジアのまほろば～新平城京～

- 上記の策定背景

30年後のアジアは今以上に交流が密接になるだろう。より深い交流をするためには相互の理解が必要不可欠である。奈良がアジア文化の発信地になるためには、奈良のオリジナリティーを大切にしなければならない。

シルクロードを渡ってきたアジア文化の終着地、奈良から“アジアのまほろば”を発信していこう！

- 重点政策

朱雀大路の復活

日本を代表する歴史的景観として、1300年前の奈良の人々が作り上げた朱雀大路を蘇らせ、将来のメインストリートにする。リニアが奈良を通る時代に、世界中から観光客が訪れ、市民が誇りを持てるような空間を作る。

アジア大学院大学設立

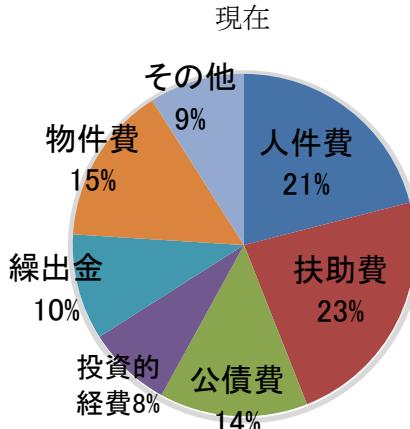
アジア各国から、文化や言語、国境を超えた相互理解をめざす人材を集め、シルクロード終着地・奈良でアジアの将来を学び、新たな価値観を世界に発信する。

奈良ネーミングロード構想

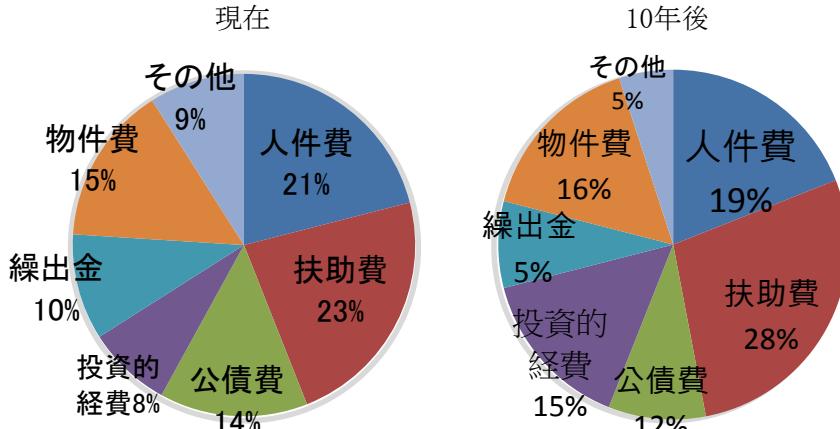
市内の道路に名前を付けることで、奈良の歴史ある土地をブランド化する。季節を問わない観光コンテンツになり、街の活性化に繋がる。

- 予算表

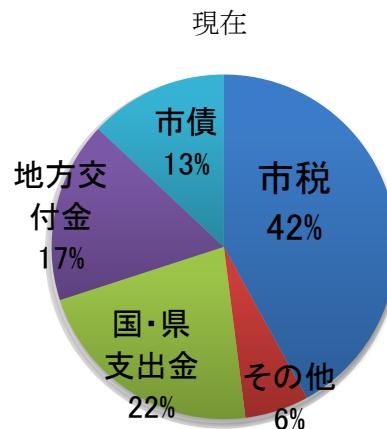
歳出総額 ￥ 1235億



1450億



歳入総額 ￥ 1235億



1450億

現在

10年後

